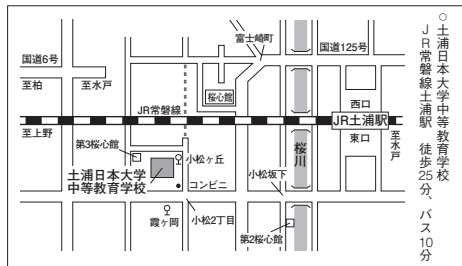


つちうらにほんだいがく 土浦日本大学中等教育学校

〒300-0826 茨城県土浦市小松ヶ丘4-46 ☎029-822-3386(代) 029-835-3907(情報入試) 学校長 堀切 浩一



〈URL〉 <https://www.tng.ac.jp/>
〈E-mail〉 sec-sch@tng.ac.jp

沿革 昭和38年(1963)日本大学の附属高校として土浦高等学校設立。翌年、土浦日本大学高等学校と改称。平成15年(2003)土浦日本大学中学校が開校。同19年(2007)土浦日本大学中学校を廃止し、茨城県初の中等教育学校として土浦日本大学中等教育学校が開校。

校風・教育方針

入学から卒業まで一貫した教育のもと、6年間かけて、生徒の可能性を着実に引き出し、世界で活躍するリーダーを育むことを目指します。教育方針は、「多様化する世界において格差を乗り越え、国際社会に貢献できる人材の育成」。さらに教育理念として3つのリスペクトを掲げ、「自分を信じ、大切にすること」「自分以外の人を、尊重すること」「自然をいっつくしみ、感謝の気持ちを持つこと」を生徒指導上の標語としています。

カリキュラムの特色

高校受験のための勉強の負担がない6年一貫教育のメリットを生かし、6年を2年間ごとに3つのターム(Foundation Term〈1・2年〉/Academic Term〈3・4年〉/Bridging Term〈5・6年〉)に分けています。1年次は校長が担当する対話型の授業「グローバル・エシックス」を通して多様性の理解と思考力やリテラシーを育成。各タームの到達目標とリンクした宿泊をとまなう国内研修・海外研修、教科学習、総合学習は、「調査→分析→整理→理解」を進める「リサーチ学習」に

今春の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください

よって、学習内容を確実に身につけます。このように、様々な視点から多角的な知が育まれていきます。

教科では英語学習に力を入れ、様々な国籍の外国人教師と経験豊富な日本人教師の指導により実践的な英語スキルを磨き、海外研修によって異文化を理解し共感しあえる教養を身につけます。理科は実験を重視し、レポート作成やプレゼンテーションを通じて論理的な考察力を養います。情報教育は、全員がタブレットPCを使うICT教育を実践します。ICTの高度な技術を身につけ、調べ学習やレポート作成、プレゼンテーション、理科実験データの分析にもPCを活用しています。

理系インタークラスは1・2年次の成績と志望理由、学力テスト、グループディスカッション等で選抜し、医歯薬獣医学部・最難関理系大学受験に特化したカリキュラムを学習しています。

国内研修・海外研修

国内研修は1年次に蓼科研修、京都・奈良研修、3年次に広島研修を実施します。蓼科研修で土浦日本大学中等教育学校の生徒としての自覚とスタディスキルを形成。京都・奈良研修では日本の歴史・文化への理解を深め、それを英語で伝える力を養成します。広島研修では近代日本の歴史学習と世界平和を考えます。

海外研修は2年次にイギリスで約4週間の寮生活を体験。実践的な英語コミュニケーション能力を育むとともに、精神的自立を促します。4年次にはアカデミックな環境が整ったケンブリッジで2週間の研修を実施。リサーチ学習を取り入れ、

1学期制 登校時刻 8:40 昼食 カフェテリア 土曜日 授業

滞在中の調査に基づいて帰国後に論文を作成し、オープンハウスで発表します。

グローバル・エシックス

1年次の校長先生による「グローバル・エシックス」の授業では、身近で解があるかどうか分からない問題に対して、自分はどうかを示し、そして学年の仲間はどうかを思っているのかを知ること、いろんな意見があり、少数派を尊重しなくてはならないことを学びます。これは多様化した国際社会で貢献するための人材、グローバルリーダーに必要な世界観・価値観を身に付けるための第一歩となっています。

環境・施設設備

校内施設は安全で機能的、かつ心地よい空間作りを心がけています。全館LAN対応でネット

ワーク化され、オーラルコミュニケーション室や400席のセルフスタディールームを備えた図書室、充実した設備を誇る理科室など、効率的に学習を進めるための環境がそろっています。また、校外施設として蓼科林間学園を設置しています。

学校行事、クラブ・サークル活動

オープンハウス(文化祭)、スポーツデイ(体育祭)、地域奉仕活動、スポーツ大会、芸術鑑賞会など、様々な学校行事があります。日ごろの学習成果を発表する秋のオープンハウス、クラスが一丸団結する合唱コンクールは、伝統行事として定着しています。

クラブ・サークル活動では、運動系12団体、文化系14団体が活動しています。切磋琢磨しながらお互いを高めていく気風を確立し、社会性や連帯性を身につけています。

データファイル

2024年度入試日程 ICAP入試あり

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
CSAT	5/11/7~11/21	11/25	12/1	12/22※
ICL英語	10/11/14~11/28	12/2	12/5	12/8
ICL総合	60/11/14~11/28	12/2	12/5	12/8
ISAT	20/11/21~12/5	12/9	12/15	12/26*
KBT	30/12/5~12/25	1/6	1/8	1/16※
KBT特待	5/12/15~1/19	1/23	1/25	2/6

*は1/31まで延納可、※は2/6まで延納可
KBTは校内の他取手会場あり。KBT特待はつくば会場と流山おおたかの森会場(4科方式のみ)、CSATは取手会場で実施。

2024年度選考方法・入試科目

【CSAT】I型(国語・社会総合)、II型(算数・理科総合)(各100点45分)

【ICL】英語方式:リスニング主体の問題、英語面接 総合学力方式:書類、面接(グループ)、総合学力試験(100点60分)

【ISAT】I型(算数・理科総合)、II型(国語・社会総合)(各100点45分)

【KBT】4科(国算理社)

【KBT特待】4科方式:4科(国算理社) 帰国・国際方式:英語・面接(生徒保護者別々)か2科・面接(生徒個人)

※国・算・英=各100点45分 理・社=各50点計50分

2023年春併設大学・短大部への進学

5年次と6年次の「基礎学力到達度テスト」の標

準化点と後期課程の評定、特別活動等人物評価を参考に、日本大学の各学部におすすめします。

日本大学-34(法3、文理2、商1、芸術3、危機管理2、理工11、生産工1、工3、医1、松戸歯2、生物資源科3、薬2)

日本大学短期大学部一進学者なし

2023年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
88人	80人	0人	0人	2人	0人	6人

2023年度入試結果 男/女 帰国・国際生入試あり

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
ICAP	10/13/19	12/19	7/13	1.7/1.5
ACE	10/4/9	4/8	3/7	1.3/1.1
CSAT	10/166/184	161/179	90/105	1.8/1.7
ICL	60/47/32	45/32	35/27	1.3/1.2
ISAT	20/179/192	173/190	116/134	1.5/1.4
KBT	30/131/132	123/121	78/87	1.6/1.4
KBT特待若干	38/25	29/22	16/17	1.8/1.3

学校説明会

オンライン相談会は随時可(要予約)

学校説明会(要予約) 10/14

土曜見学会(要予約) 9/2 9/9 9/16 9/30 11/11

11/18 12/16 1/13 1/27 2/3 2/24

見学できる行事 要予約

オープンハウス(文化祭) 10/28-29

(相談会あり)

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください